

生活保護事業

Q コロナ禍において生活弱者は苦しんでおられるが、そのような状況を調査する際に、民生委員と連携はとれているのか。

A 民生委員においても、コロナ禍でなかなか活動できない現状もあるが、いろいろなご意見を聞いたり、市から研修等をさせていただくなど、民生委員との連携を図っている。

がん患者医療用補正具購入費助成事業

Q がん患者医療用補正具購入費助成事業について、申請件数が増えた理由はなにか。また、申請のうち主なものはなにか。

A 医療機関やウィッグの会社が助成の周知をされていることが増えた理由と考えている。また、申請の大部分は医療用ウィッグで、その他には乳房補正具などがある。

産後ケア事業等

Q 国庫補助金等の返還金が多くあるが、申請がされず、必要なところに十分に行き届かずに返還ということになってはいないのか。

A 月単位で利用の最大月を根拠に当初の交付申請をしているため、返還金が出てくるが、漏れなく、必要なところに行き届くように配慮している。

農業生産コスト低減緊急対策事業

Q 生産コスト低減に資する機械の導入とあるが、どのような機械の申請があり、補助率はどのくらいなのか。

A 4団体から申請があり、自脱式コンバインが2団体、農業用ドローンが1団体、中耕培土機等が1団体で、補助率は2分の1である。

たつの市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定の取消し

Q なぜ指定を取り消すことになるのか。また、市内の郵便局は全て取り扱わなくなるのか。

A 契約を結んでいる郵便局は、西播磨光都プラザ郵便局のみである。マイナンバーカードが普及しコンビニ証明機の利用が進んだことにより利用者数が減っている。また、郵便局の事務委託料の改定、通信回線の改修費用の負担等の課題があり、上郡町と協議のうえ令和5年3月31日をもって指定を取消すことになった。

姫路市及びたつの市における連携中核都市圏形成に係る連携協約の一部を変更

令和5年4月に播磨圏域初の公立夜間中学校である「姫路市立あかつき中学校（姫路市立東小学校北館）」が開校されるのに当たり、圏域内住民に年齢や国籍等を問わず、義務教育を受ける機会を提供できるよう、姫路市と連携して学校の運営等に取組みます。

Q 本市の負担金や就学に当たる援助費等はどのようになっているのか。

A 姫路市と協定を結んでおり、1人当たり最大で約34万円の負担になる予定である。

※播磨圏域連携中核都市圏は、連携中核都市である姫路市と近隣7市8町が連携協約を締結することにより形成され、圏域全体の経済成長の牽引や生活関連機能サービスの向上などのため、役割を分担して取組んでいる。



たつの市営住宅条例の一部を改正

市営日山住宅第1棟の建て替え事業において、新たな駐車場の完成予定に伴い、駐車場の使用料月額を2千500円と定めます。

Q 駐車場の使用料月額はどのように決めているのか。

A 近隣にある同程度の駐車場使用料月額を限度として決めている。

Q 1軒につき何台までという規定はあるのか。また、車を持っていないかつ世帯が新たに車を購入し、駐車場を使用した場合はどうなるのか。

A 駐車場の整備台数は整備戸数と同じであり、1軒につき1台である。また、2台目を使用したい場合は、使用されていない部分を貸し出しするが、車を持っていなかった世帯が新たに駐車場を使用する場合は、2台目を使用している方に遠慮していただくことをあらかじめ説明する。

